

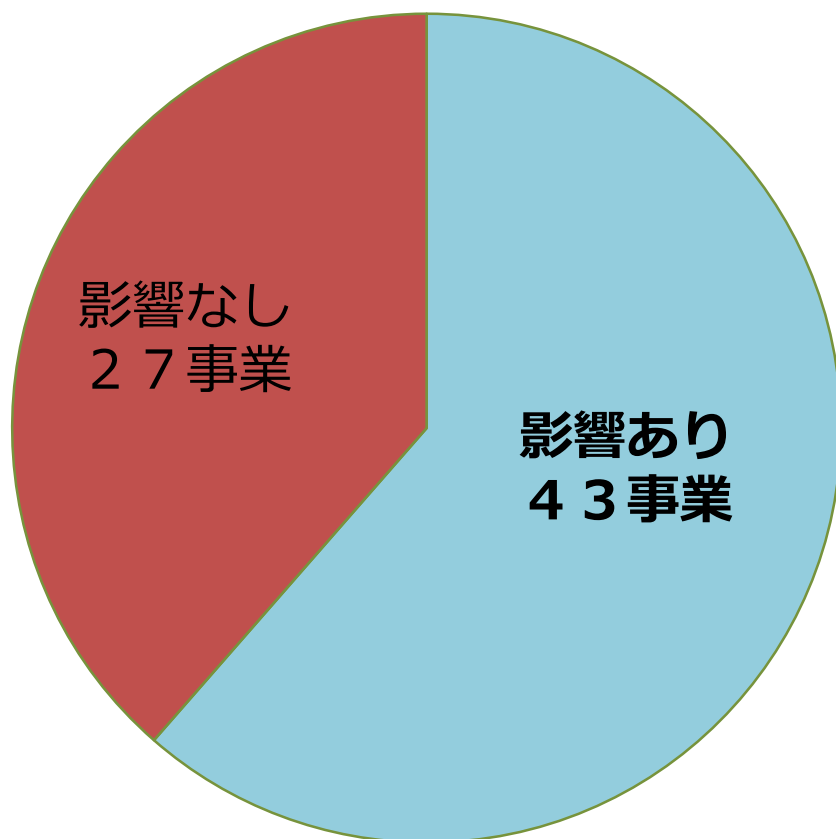
令和2年度における 新型コロナウイルス感染症の影響



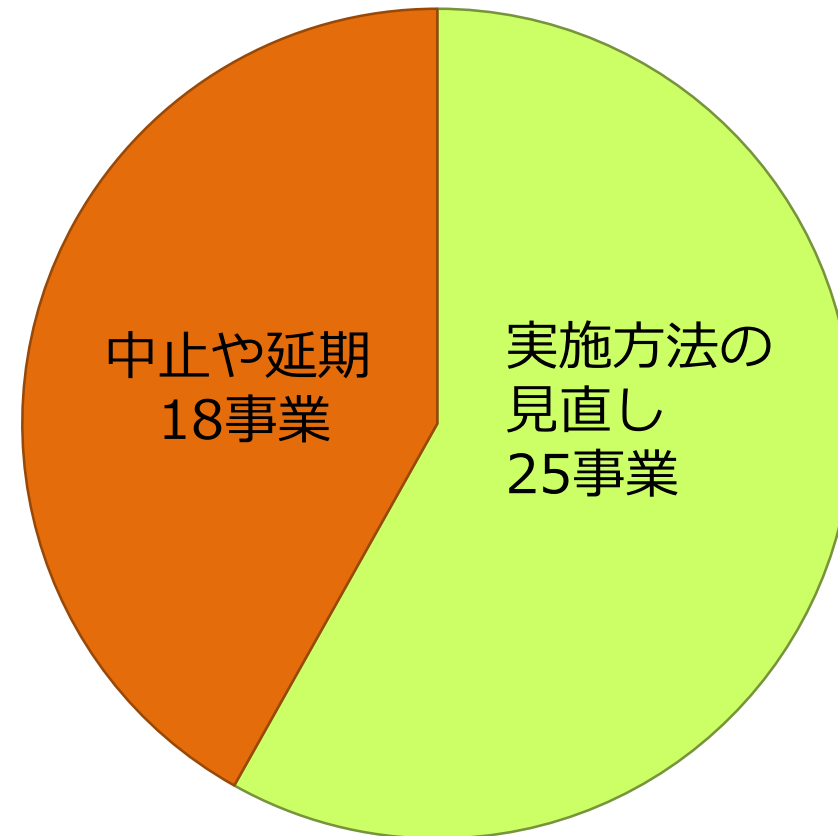
令和2年度における新型コロナウイルス感染症の影響

- ビジョンに掲載されている全70事業（再掲事業を除く）のうち43事業に影響があり

新型コロナウイルス感染症の影響の有無



主な影響



新型コロナウイルス感染症の影響があった事業

・実施方法を見直した事業

事業名	見直し内容
産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会をWebで開催
中小企業経営力強化事業	複数回ある講習会の一部をWebで開催
海外誘客促進事業	SNS等を活用した誘客事業を実施
ファミリー・サポート・センター事業	講座の開催にあたりマスクの着用、消毒等の感染対策の徹底
中学校総合体育大会等の連携	新人体育大会を原則無観客で開催
人材育成事業、合同研修等の実施	研修参加人数を例年より減らした会場の定期的な換気 参加者にマスク着用の呼びかけ等を実施

・中止や延期になった事業

事業名	中止や延期になったもの
デリバリーアーツ事業	連携市町からの申入れにより、8公演中3公演が事業中止
文化芸術鑑賞等の機会の提供（劇団四季）	R3.2月中旬の3日間の公演全てが中止
不法投棄対策事業の推進	年6回のクリーン作戦を全て中止

課題と新たな取組の考え方

課題

コロナ禍においても、圏域での連携事業を実施し、経済を活性化し、圏域全体の魅力を高めることが必要



- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と社会経済活動の維持との両立
- ・ 「新しい生活様式」を踏まえた取組の実施

・ 感染拡大の防止対策を盛り込んだ事業

事業名	取組内容
救急艇の活用	救急艇にオゾン消毒器を積載 島しょ部の消防団員へ感染防止資器材の配布
帰国児童等支援事業	国や県が作成したガイドラインや衛生管理マニュアルに沿った対策を実施
環境学習等推進事業	マスク着用や消毒用アルコールの使用 ソーシャルディスタンスの確保

・ ICTを活用した事業

事業名	取組内容
データ利活用型スマートシティ推進事業	Web会議システムを利用し勉強会を実施
在宅医療・介護連携推進事業	オンライン上で研修を開催予定

今後の対応について

- ・感染拡大の防止を図りながら、圏域の連携事業の実施
- ・ICTの積極的な活用
- ・コロナ禍における新たな取組について、圏域内で協議・調整



連携事業の新たな手法での実施等について、担当者間でWeb会議システムを活用することなどにより、これまで以上に意見交換や情報共有を実施する予定

・来年度以降の取組事例

事業名	取組予定の内容
瀬戸内国際芸術祭推進事業	鑑賞者に対する感染症対策の実施 展示場所の協議・調整
文化芸術鑑賞等の機会の提供（美術館学習）	ICTを活用したオンライン授業の検討
ファミリー・サポート・センター事業	オンライン講座の検討 感染症補償制度保険の加入検討
生涯学習推進事業	各種講座のWeb配信
地域防災対策事業	防災訓練の訓練内容の見直し Web会議による防災担当者間での情報交換の実施